

一般質問

鈴木 立
議員

○飼料高騰を含む畜産農家の現況について

質 飼料高騰による畜産農家は現在大変な苦境に陥っている。世界的コロナ感染による著しい消費低迷が及ぼす販売価格の下落。また、世界有数の穀倉地のウクライナ紛争による輸入阻止および経済制裁により油、肥料、飼料、農機具等全て値上がりとなり、これまで推進してきた牛の千頭増頭の言葉が聞かれない。畜産業は、農業経営の基幹である。国、県、市が連携して実効性のある施策によって現況打開を図る必要がある。市は今の現況をどう考えているのか伺いたい。

農林課長 新型コロナウイルス感染症の影響により、農産物販売価格の低迷、販路の縮小等を招きました。また、ウクライナ情勢等の影響では、資材価格が高騰し、輸入に頼っている化学肥料や畜産飼料の価格高騰、農機具の価格高騰や納品の遅れなど農業経営へ大きな影響を与えています。肉用牛に関しては、枝肉価格が低迷し、子牛価格にも影響しました。農家へは子牛販売価格と経費への二重の影響が出ています。

市長 団体の皆さま方の「我々の団体はこういうふう困っているから、この分について何とかできないか」といった声をしっかりと受け止めながら、必要な施策を現場の声に反映した形で対応するように努めていきたいと考えています。

○椋呂路トンネルの現況と早期着工に向けての今後について

質 椋呂路トンネルの早期着工が強く望まれる。玄海原子力発電所から30km圏内に位置している板山トンネルは貫通し、付帯工事がなされている。供用開始間近と聞いている、間隔をおかず続けて椋呂路トンネル早期着工を強く進めてほしい。

今回、総会に招かれたその席で佐世保市長さんが命の道として重要であると発言しておられた。また、私に世知原の林佐世保市議会議長さんが、互いに連携して椋呂路トンネル早期着工を目指し、頑張ろうと言っていた。救命救急トンネルとして、市の考えを伺う。

市長 椋呂路および板山トンネルの建設については、両トンネルが完成することで生活基盤の充実、命の道としての整備をはじめ、物流、観光の拠点といったさまざまな事業効果が最大限に発揮されることを念頭に置いて、引き続き官民一体となって要望活動を行っていきます。

一般質問

武部 武
議員

○人口減少克服に向けた対策について

質 毎年、人口減少が進んでいるが、2030年に2万人を目標として人口減少克服対策を立て直す戦略の考えはあるか。また、松浦市の少子化対策や子育て支援策はどのようなか。

政策企画課長 人口減少問題は本市の最重要課題であり、議員ご指摘のとおり、このままでは、将来まちとしての機能を維持できない恐れがあると思っています。この減っていくということに慣れてはいけない、常に現状に危機感を持って、あらゆる手だてを講じる必要があると考えています。市民がここに住みたい・住み続けたいと思ってもらえるように、松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、持続可能な地域をつくっていくとしており、企業誘致等による新たな雇用の場の創出、交流人口の拡大、結婚・妊娠・出産・子育ての包括的な支援などさまざまな施策に取り組んでいるところ。また、働く場の確保という意味では、西九州させほ広域都市圏において参画自治体が連携して各施策に取り組んでいます。この広域都

市圏域も地元と捉えていただき、圏域内の幅広い職業をPRして、松浦から通っていただくといった取り組みも行っているところです。引き続き市民と行政がお互いに補完・協力し合いながら、人口減少社会においても持続可能な地域をつくりたい、そのためのさまざまな施策に取り組みしていきたいと考えています。

○梶谷城跡整備と鷹島海底遺跡、梶谷城跡を中心とした史跡観光ルートの構築について

質 樹木の伐採で県指定史跡松浦寛梶谷城跡からの景観が一段と良くなりました。梶谷城跡の活用策については、松浦市文化財保存活用地域計画の中で検討と言われているが、文化財に関するアンケート結果「保存整備の充実」が一番大切との回答でしたがどのように計画に反映させるのか。

文化財課長 文化財の堅実な保存とともに、観光や学校教育などの分野での活用を推進していくことが期待されているのではないかと分析をしています。このアンケートなどの基礎調査結果については、昨年度の素案作成の際に反映をさせているところ。さまざまな課題等を抽出したところであり、令和5年度はその抽出した課題に対する方針・措置等を検討して取りまとめしていきます。